

## ミニバス夕日岳

参加者 会員 10名

一般は古峯神社駐車場から夕日岳に登山するのですが。そのコースは林道があるので時間が掛かる話があり、今回は細尾峠からの登山コースにしました

お魚センターを6時20分に出発し清滝ICを降り日足トンネルを抜けて、旧国道120号線に入りました。道路はいろは坂よりキツイ勾配で道幅狭くカーブの多い道路でした。細尾峠に8時50分に着きました。運転手さんが帰りのためマイクロバスを方向転換しました。そのハンドル裁きは見事でした。運転手さんに感謝しました。9時10分出発し最初から急な勾配を登り50分間で薬師岳に着きました。薬師岳から夕日岳までは道も良く整備されて歩き安かったです。両側はやしおの木がたくさんありました。4月下旬から5月上旬は満開らしいです。11時40分に夕日岳に着き昼食し、12時20分に出発地蔵岳に向えました。地蔵岳はまだ山ツツジが咲いていました。そこからは細尾峠に無事下山しました。お魚センターに18時30分頃着きました。

(記 H.T.)



# 尾瀬ヶ原散策

山行日：5月29日

天候：晴れときどき曇り

参加者：会員4名

尾瀬の水芭蕉が美しい時期であるので、鳩待峠から尾瀬ヶ原の散策を提案した。賛同してくれた会員3名が参加してくれ、丁度車1台朝5:30に久慈浜の駐車場を出発する。常磐道～北関東道～4号～日光道～金精峠を越え、尾瀬の駐車場まで到着してびっくり、第一駐車場が満車で第二駐車場に止める。乗り合いバスで鳩待峠に9:40頃到着し、尾瀬ヶ原に降りていく。東京地区から大勢の方が降りていく。期待した水芭蕉が少ない。M.Iさんが川柳を作ってくれた「尾瀬ヶ原 コロナ三密 なんのその あふれる木道 マスクつけて」。山ノ鼻に10:30頃到着し、準備をすまして歩き出す。湿原に入って燧ヶ岳を望んでも天候は良いのに、水芭蕉は少ない。さらに進んで三つ又近くへ来て、水芭蕉がほとんど無くなっている。さらに進んで分かったことであるが、シカに食べられほとんど無くなったようである。写真ポイントはシカよけの柵があり、最後の2枚は大堀川近くの写真ポイントである。

(Y.O.記)



↑山ノ鼻前の歩道 ↓大堀川近く



↑燧ヶ岳を望む ↓大堀川から至仏岳





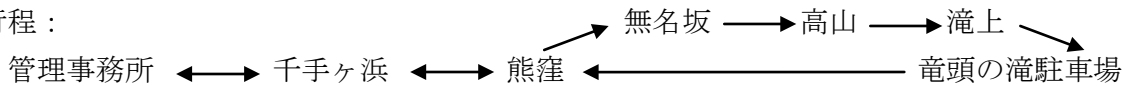
# クリンソウの今昔（千手ヶ浜と高山）

山行日：6月17日

天候：曇り時々晴れ、朝夕雨

参加者：会員8名

行程：



当初16日に企画されたクリンソウを見るトレッキングが、天候と参加者の都合で17日に実施された。千手ヶ浜に入ってみたところ、クリンソウがほとんど見当たらない。2007.6.23の記録では至る所にクリンソウが咲いていた。かろうじて管理事務所近くで咲いているが、全然少ない。管理者の方が、温暖化で天候が悪く全ての植物の生長が悪いと怒っていた。写真撮影の後に昼食を取り、その後熊窪へ、高山から滝上を通過して駐車場に戻る。帰りのルートはアップダウンのあるルートでくたびれたが、充実したトレッキングで企画したS.I.さんに感謝します。（Y.O.記）



↑管理事務所近くのクリンソウ



↑写真撮影会



↑高山山頂にて



2007年のクリンソウ↑

今は亡き豆太郎を偲んで→

